

営繕工事のBIM学ぶ

新潟空衛協が技術研修会

新潟県空調衛生工事業協会(新潟空衛協)の2021年度1回目の技術研修会が20日、新潟市中央区の新潟テルサで開かれた。写真。研修会には会員企業の技術者23人と、新潟県の衛生設備工事の動向、施工時の留意点を学んだ。

技術研修会は会員の技術力向上と人材育成を目的に



06年度から年2回開催しており、今年で16年目を迎えた。

午前の部では、北陸地方整備局営繕部の伊草伸雄氏が「営繕工事における生産性向上(BIM)の取り組み」を、スパイダープラスの倉邊幹人氏が「建設業における現状の課題と現場のIT化」をテーマに講演。午後の部では、MCデータプラスの高倉彩瑛佳氏が「安全書類のIT化」の現状を分かりやすく説明した。

2回目の研修会は22年3月10日に開く予定。